

「伝承」に向けた取り組み

第2次運営計画の基本理念と基本方針には、「これまでセンターが担ってきた活動は、災害時における心のケア活動の貴重な知見となることから、今後発生する災害などにおいても活用できる支援のあり方について取りまとめるなど、これまでの活動で培われた経験の伝承も視野に入れた活動を実施する」ことが明記されている。

2022年度から伝承に向けた取り組みが本格的に開始され、伝承を誰に、何を、どのような形で行うのか、それらの枠組み作りについて検討を重ねた。今年度はそれらの作業を踏まえて、より具体的に取りまとめを進めることが求められた。

そこで、これまでの伝承作業の経過と今後の取り組みの内容を以下に記す。

1. 「伝承」についての考え方、枠組み

(1) 伝承することの意義について

これまでセンターでは、被災地域のニーズに応じて多種多様な活動を実施してきた。今後発生する災害の被災地域においても、同様のニーズが生じる可能性が予測される。そこで、被災地域にどのようなニーズが生じるかを明確にし、それらに対して当センターが実施してきた活動を伝え残すことは、今後の支援活動を行う際の一助となると考えられる。

また、災害直後の精神保健分野の支援活動については、これまでも記録や資料が多く残されているが、いわゆる中長期におけるそれらはほとんど見当たらない。災害の規模が限定的である場合は、災害発生直後の支援が中心となるが、東日本大震災級の大規模災害が発生した場合は、中長期の支援が求められるため、センターが得てきた知見を伝え残すことは重要であると考えられる。

(2) 「伝承」の2つの柱

① センターが取り組んできたことの伝承

センターが取り組んできたこれまでの活動について、集積された数値を分析しつつ、得られた成果やその意義、あるいは課題を検証し、災害後の中長期的支援を通じて得られた知見を明らかにし、伝え継ぐ。

② センターの経験を通じて、今後発生する災害時に役立つことの伝承

①の作業を基に、今後発生する災害によって生じると考えられる被災地域でのメンタルヘルスに関する支援ニーズと、それに対する有効な支援のあり方およびその内容を整理し、平時からの備えの一助となるよう、伝え継ぐ。

(3) 「伝承」のための具体的取り組み—伝承の対象による取りまとめ—

伝承の対象を下記の2つに分け、それぞれ支援活動の実施に際して予測される疑問や課題を明らかにし、それらに答えるために当センターの経験から伝えられることを整理した後、インターネットや書籍など様々な方法を通じて発信することを計画した。

① 「災害後の心のケアに携わる地域の支援者への伝承」(以下、被災地域の支援者への伝承)

自治体保健師などや専門職が災害後の被災者および支援者の精神的健康に関する支援を円滑に進められることに寄与する目的で取り組むもの。

② 「災害後の心のケアの実践に向けた組織運営の伝承」(以下、心のケアの専門的組織への伝承)

被災者および支援者の精神的健康への支援を専門的に担う組織(心のケアセンター又は類似の組織)やその職員が円滑に業務を進められることに寄与する目的で取り組むもの。

2. 令和4年度の取り組み

「伝承」について、その考え方と枠組みや作業についてセンター内で共有した。

- (1) 基幹センター、気仙沼地域センター、石巻地域センター（以下「3センター」という）でのそれぞれが地域に根差して実施していた様々な活動について、共有化された「伝承」の考え方と枠組みに沿って取りまとめていくこととした。
- (2) 3センターが協力して進めていくことが不可欠であることから、そのための取り組み体制について検討を開始した。

3. 令和5年度の取り組み

「伝承」の具体的作業として、「被災地域の支援者への伝承」、「心のケアの専門的組織への伝承」に沿って、それぞれに作業を行った。

① 「被災地域の支援者への伝承」

「仮設住宅の生活支援員等一時的な支援者（非専門職の支援者）への支援」、「民間賃貸住宅入居者へのサロン活動」、「アルコール関連問題への支援」、「外部組織としての支援の変遷」にテーマを絞り、取りまとめを行った。

② 「心のケアの専門的組織への伝承」

センターの活動時期を3つに分け、その中でも活動開始の時期に焦点を当て、センターの活動を振り返りながら次の災害後の心のケアの専門的組織の立ち上げや活動の進め方などを中心に取りまとめを行った。

4. 今後について（令和6年度の取り組み）

「被災地域の支援者への伝承」では、現在、とりまとめを行っているテーマに加えて、「健康調査に基づく支援」、「自死後の支援」、「ハイリスクアプローチからポピュレーションアプローチへの移行と実際の支援」などのテーマについて同様に取りまとめを行う予定である。また、「心のケアの専門的組織への伝承」では、引き続き、センターの活動期、終結期についても検討を行いながら取りまとめを行う予定である。令和6年12月までにこれらの取りまとめを行い、令和7年4月から、インターネットや書籍、研修などを通じて具体的な伝承活動の実施を目標としている。

今後の伝承の取り組みマスタースケジュール

	2024年	2024年	2024年	2024年	2024年	2024年	2024年	2024年	2024年	2024年	2024年	2024年	2025年	2025年	2025年	2025年
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月
マイルストーン	11日 管理者会議	8日 運営委員会 22日 全体M						全体M?						運営委員会 全体M?		
伝承全体	運営委員会 資料承認	運営委員会 報告												運営 委員会 報告		発信作業 開始
組織運営 の伝承		全体M報告						全体M報告								
	取りまとめ実施							取りまとめ実施					検証、見直し			
被災地域の 支援者 への伝承		全体M報告						全体M報告								
	取りまとめ実施							取りまとめ実施					検証、見直し			